

飼料問題懇談会の概要

- 1 日時 平成15年6月18日(水) 15時から17時半まで
- 2 場所 農林水産省生産局第1会議室
- 3 出席者 委員11名が出席(委員欠席3名、代理出席1名)
- 4 議事概要

「今後の飼料政策の展開方向に関する実行プログラム(工程表)の措置状況」「備蓄飼料穀物の放出(買入)の運用方法」等を議題として、意見交換を行った。(主な意見は次のとおり)

- ・ 自給飼料の生産を拡大していくためには、土地集積・団地化、コントラクターの育成等が必要であるが、これらの課題についてバラバラに取り組むのではなく、一体のものとして捉え、地域においてモデルを育成すべき。
- ・ 農地の集積を進めていくためには、従来の制度・システムに切り込んでいくことが必要。
- ・ 「環境保全的な農林水産政策の展開に関する大綱」を本年中に策定予定と聞いているが、その中に畜産農家への土地利用の集積をはじめ、個々の畜産経営では対応できない問題への政策対応などを明確に位置付けるべき。
- ・ トレーサビリティが注目されているが、このような中でこれから飼料がますます重要になるということを認識すべき。

最後に、本懇談会として畜産部長に対して、「環境保全的な農林水産政策の展開に関する大綱」の中に畜産の政策対応が明確に位置付けられるよう取り組まれたい旨の申し入れが行われた。

問い合わせ先

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1の2の1

農林水産省生産局畜産部飼料課

03-3502-8111 内4002

03-3501-3778 直通

Fax03-3580-0078

担当：矢花、野間

飼料問題懇談会について

1 趣旨

最近の飼料政策をめぐる状況として、畜産物需要や畜産経営の動向、国際環境の変化、さらには最近の消費者の「食」の安全性等に対する関心の高まり等様々な変化が見られる。このような状況変化を踏まえ、今後の飼料政策の在り方に関し、「安全」、「安心」、「安定供給」、「安価（低コスト化）」の4つの「安」をキーワードとして追求することにより、我が国畜産の安定的な発展と、これを支える飼料供給構造の確立を図るため、飼料問題懇談会を開催する。

2 主な内容

- (1) 「今後の飼料政策の展開方向に関する実行プログラム（工程表）の措置状況について」
- (2) その他

3 日時

平成15年6月18日（水）15：00～17：30

4 場所

農林水産省生産局第1会議室

5 メンバー

別紙のとおり

飼料問題懇談会委員名簿

氏名	役職
青沼 明德	全国酪農業協同組合連合会 代表理事専務
阿部 亮	日本大学生物資源科学部 教授
犬伏 由利子	消費科学連合会 副会長
岩田 三代	株式会社日本経済新聞社 生活情報部長
大野 健三	全国農業協同組合連合会 常務理事
生源寺 眞一	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
須田 洵	社団法人配合飼料供給安定機構 理事長
高木 勇樹	株式会社農林中金総合研究所 理事長
續 省三	日本草地畜産種子協会会長
手塚 基文	協同組合日本飼料工業会 会長
内藤 廣信	社団法人中央畜産会 常務理事
中村 祐三	全国農業協同組合中央会 常務理事
山角 誠	飼料輸出入協議会 副理事長
吉田 勝也	全国畜産課長会 会長

五十音順

平成15年5月末現在

